

【プレスリリース】

さようなら原発1000万人アクション
原発をなくす全国連絡会
首都圏反原発連合



再稼働を許さず、原発ゼロの日本を続けよう！

今日、9月15日、関西電力大飯原発4号機がとまり、原発ゼロの日本が再び実現します。

早期の再稼働に躍起になっている政府や電力会社など原発推進勢力のまきかえしを許さず、原発ゼロの日本をあすに引き継ぐため、いま、声を大きくし、行動をおこしましょう。

「福島を忘れるな!!」、「原発再稼働を許すな!!」の声と寄せあう「10.13 原発ゼロ★統一行動」(2013年10月13日(日)午後、国会議事堂周辺)への多くの皆さんの参加で、再稼働反対の声を可視化しましょう。

2年半経過しても福島原発事故は収束せず、故郷をおわれた15万人近くの人々が困難な避難生活を強いられ続けています。再稼働より、これらへの対処が先決です。

増え続ける放射能汚染水の処理の目途が立ちません。貯蔵タンクからの汚染水漏れの原因解明さえできていません。汚染された地下水が海洋に漏れ出し、国際社会からも厳しい非難が寄せられています。東京電力は、原子炉内からの水蒸気漏れの可能性さえ認めています。

「(汚染水は)コントロールされている」との安倍首相の発言にもかかわらず、危機的な状況が続いているのが福島事故の現状です。

一度事故が起きれば、放射能を閉じ込めることができずに被害が拡大し続けることを、私たちは目の当たりにしています。このことだけでも、危険な原発と人類の共存は困難です。

事故収束も、汚染水処理の見込みも立たないのに、原発再稼働などとんでもありません。

すでに4つの電力会社が、6原発12基の原子炉の再稼働を申請し、原発事故を起こした東京電力までもがつつこうとしています。安倍首相は、再稼働に前のめりの姿勢を示すとともに、原発メーカーなどを引き連れたトップセールスに、中東諸国などを訪問しました。

電力会社の経営改善には原発の再稼働が必要、原発輸出で外需拡大を、という経済優先の姿勢は、福島事故前と全く変わっていません。

過酷な事故を引き起こした責任を認めず、反省の姿勢を示さない政府や電力会社に、危険な原発の運転をまかせる訳にはいきません。

かつてない猛暑となった2013年夏、原発が稼働していなくても電力が足りていました。

太陽光発電など再生可能エネルギーへの転換をめざす動きは日に日に強まり、原発に依存しない日本社会を実現できる条件が高まっています。核のゴミを増やす原発を再稼働する理由はどこにもありません。

原発依存のエネルギー政策に固執して、多額な税金を投入し続けるよりも、福島原発事故の収束と汚染水処理に、国が先導して、すべての叡智を結集すべき時です。

原発再稼働を断念し、原発ゼロの日本を恒久化する政治決断をもとめ、電力会社に原発再稼働の断念を迫るため、いま立ちあがりましょう。

10月13日午後、国会議事堂周辺で私たちが開催する統一行動に、多くの皆さんのご参加をお待ちします。

2013年9月15日

首都圏反原発連合
さようなら原発1000万人アクション
原発をなくす全国連絡会

10.13 No Nukes Day 原発ゼロ★統一行動 ～福島を忘れるな・再稼働を許すな

主催：首都圏反原発連合 共催：さようなら原発1000万人アクション 原発をなくす全国連絡会

協力：脱原発世界会議／経産省前テントひろば／再稼働阻止全国ネットワーク

日付：10月13日(日)

時間：13:00 集会 日比谷公会堂

14:00 デモ出発

17:00～19:00 国会前大集会